

## 特色ある教育活動

### (1) 家庭・地域との連携について

「保護者参加型の授業づくり」「鷺寺（鷺宮寺子屋自主学习会）」「百人一首教室」「白鷺音読の会」など、家庭・地域との連携による学力向上についての取り組みを継続しています。また、「1年生を迎える会」「6年生を送る会」等への行事には、児童の成長の姿を相互に実感できる機会とし、積極的に保護者・地域の参観を周知しています。

さらに、地域行事に学校が積極的に参加し、町会や商店会、同窓会等の人材を活用してキャリア教育を推進し、地域の異校種間との連携をするなど相互に交流を深めることで、児童の地域を愛する心を学校・地域・保護者が協働で育むことを目指しています。

### (2) 心の教育の推進

道徳教育の視点から生命尊重の精神を育むとともに、各学年ごとの指導計画において、発達段階に応じた重点を設定しています。特に、命に触れる、体験的な活動として学校飼育活動に取り組んでいます。また、道徳の時間を要として各教科等との連携を図った指導を行い、命の大切さを自覚し、よりよく生きようとする児童の育成を目指しています。

### (3) 音読活動

毎週金曜日の中休みにおいて、各学年ごとの音読集を活用し、「白鷺音読の会」の方々のご協力により、詩の暗唱や音読活動を行っています。さらに音読・群読、百人一首の暗唱、また、詩の創作活動を通して、表現する楽しさや言葉の響き・リズムを実感させ、言語感覚を磨き、言葉による豊かな表現力と感性を育む。年2回の音読発表会をその成果の場とし、音読活動への更なる興味・関心を高めています。

### (4) 「ノーテレビ・ノーゲーム運動」の取組

「早寝、早起き、朝ごはん、テレビやゲームを消して外遊び」を、学校と家庭、地域が一体となって児童の生活習慣の改善に取り組み、メディアコントロールのできる健康な生活態度を育てています。特に、カードを用いて、年に2回2週間に及ぶ取組の重点化を図っています。

### (5) クリーングリーン・挨拶活動

代表委員会主催の登校時のごみ拾い活動を通して、自主的に奉仕活動を実践する態度を養うとともに、自分たちの愛する地域をきれいに保つために、自ら考え、判断し、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した行動がとれる態度や実践力を育てています。代表委員会の児童が中心となって元気な朝の挨拶をすることで、よりよい集団生活をしようとする態度を育てています。

### (6) 体力向上

体育の授業や年3回の体力向上旬間等を通して、休み時間や放課後、家庭においても運動の日常化による主体的な体力の向上を目指すとともに、家庭と連携した生活習慣改善のため、食育の推進に取り組み、栄養等の正しい知識を身に付けさせる取組を行っています。

## 小中連携教育（中野区立第八中学校区 第八中学校、西中野小学校との連携）

小・中学校の9年間を見通した教育活動を行う学校間の連携を推進するため、小中連携教育担当を校内分掌に位置付け、「小中連携教育協議会」「オープンキャンパス」「乗り入れ指導」等を計画し、全教職員がかかわりながら取り組んでいます。

- (1) 小中連携教育協議会では小学校と中学校において、相互に関連している学習指導や生活指導の具体的事項について協議しています。
- (2) 「オープンキャンパス」では、第6学年を対象に中学校での授業体験や部活動体験を実施しています。
- (3) 「乗り入れ指導」では、第6学年と中学校第1学年を対象とした授業を各校の教員主導で行いながら、異

校種T2のよりよい活用方法を開発しています。

(4) その他、運動会、地域等の行事に中学生をボランティアとして活用し、小学校1年生から中学校3年生までの9年間で連携を実践しています。

これらの取り組みを通し、教科指導や生活指導、望ましい連携の在り方や児童・生徒についての理解等を図り、第八中学校区として、発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導過程を工夫し、一貫性のある継続的な指導を目指しています。

## オリンピック・パラリンピック教育

各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動においてオリンピック・パラリンピックの歴史や意義について理解します。各教科においては、運動やスポーツへの関心を高め、楽しみながら体力を向上する体育学習の改善を目指します。具体的には、4つのテーマ「オリンピックパラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」を4つのアクション「学ぶ(知る)」「観る」「する(体験・交流)」「支える」で進めていきます。

道徳においては、日本の伝統的な礼儀や作法を学習する。総合的な学習の時間においては、日本の伝統的な文化や習慣について学んだり、世界の国々の歴史や文化に触れたりすることで国際理解教育を更に深め、特別活動においては、行事などを通して、ボランティアの心を育てていきます。

6月には、元大学箱根駅伝完全優勝時の選手やよりご指導いただき、4年生から6年生の児童を対象に「かけっこ教室」を行いました。

12月には、元競歩アジア選手権20km金メダルの選手より「持久走教室」として、ご指導いただく予定です。

10月には、元プロ野球選手に野球やランニングを指導して頂きながら、同時に地球の環境を守る大切さを一緒に考えます。

11月には、アトランタ、アテネオリンピック出場選手による講演会と実演を予定しています。さらに、パラリンピック競技・障害者スポーツ選手との交流も現在、計画中です。

一流のアスリートとの交流を通して、卓越性や可能性を感じて学び取り、進んで「スポーツ」に取り組もうとする意欲を高めていきます。

「文化」の取組として、和室にて行われている「作動クラブ」や白鷺音読の会の方々による「百人一首教室」などは、「日本文化」に直結する取組となります。

「環境」の取組では、毎週木曜日に実施している「クリーン・グリーン活動」として、通学路に落ちているごみやペットボトル、空き缶などを拾って登校し、学区域をきれいにする常時ボランティア活動を行っています。